

アンケート結果に示された災害地学研究への要望

本郷 美佐緒¹⁾

はじめに

中越地震災害調査結果報告会～川口町の地盤と震災～では、参加者受付の際全員(135名)に資料集とアンケート用紙をお配りました。そして、会場出口においてアンケート用紙の回収を行い、48名の方から回答・ご意見を頂きました(回収率36%)。ここでは、アンケート結果をまとめ、災害地学研究への要望を報告します。

アンケート内容と結果

質問内容は、下記の4項目です。全項目とも記述式でしたので、回答してくださった方々の言葉で書かれています。個々の回答内容については、アンケート集計表(第1～4表)を参照していただくこととし、ここでは、回答傾向について述べたいと思います。

1. 本日の報告会の印象は、いかがでしたか? (第1表)

“良かった”、“ためになった”という内容の回答が71%を占めていました(第1図)。逆に、“難しかった”、“よくなかった”という内容の回答は13%でした。“その他”とした回答は16%であり、具体的には「難しいところもありましたが、地震以降の疑問や不安が少し解消されたと思います」、「わかりやすかったが、難しい言葉も多かった」、「前もって資料を読む時間がもらいたかった」などの感想や意見が寄せられました。また、“良かった”、“ためになった”という回答の中で、「自分の集落の地下地質がわかり良い報告会だった」、「初めてこのような勉強の機会、終始感動した」や「第一線で研究されているひとの発表などめったに聞く機会がなかったが、大変よかった。デマやうわ

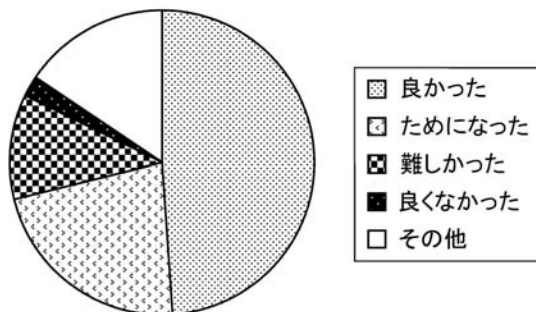
アンケート

本日は中越地震災害調査結果報告会～川口町の地盤と震災～にお越しくださ
いまして大変ありがとうございました。よろしかったら、以下の質問にお答え
ください。

1. 本日の報告会の印象は、いかがでしたか?
2. 報告内容は分かりやすかったですでしょうか? 難しかったですでしょうか?
3. 他に聞きたい話・知りたいことなどありませんか?
4. 災害の研究に対して何か必要な? 何が欠けているのか? 日ごろ思っている
ことなど、何でもご自由にお書きください。

宜しかったらお名前・お仕事など簡単に紹介ください(あくまで自由です!)

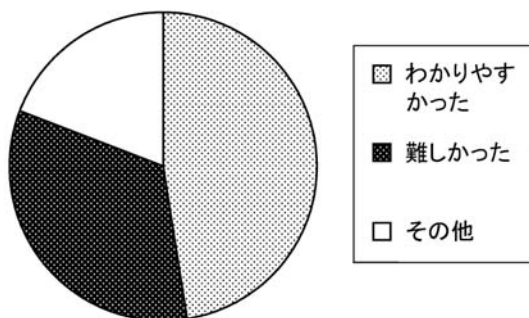
ありがとうございました



第1図 本日の報告会の印象は、いかがでしたか?

1) 新潟大学 災害復興科学センター

キーワード: 中越地震, 川口町, アンケート



第2図 報告内容はわかりやすかったですか？ 難しかったですか？

さでなくきちんと聞くことは大切だと思った。」などの声がありました。一方、「難しかった」との回答の中には、「一人当たりの(発表)時間が短く理解しにくい。時間をかけて、地盤、地質などの解説がほしかった」という意見がみられました。参加者の皆さんが地元集落の地質や地盤に対して関心を持ち、どうなっているのかももっと知りたいという気持ちが高まっていることの現れだろうと思います。

2. 報告内容はわかりやすかったですか？

難しかったですか？(第2表)

「わかりやすかった」という内容の回答が48%を占めていました(第2図)。逆に、「難しかった」という内容の回答は33%でした。「その他」とした回答は19%でした。具体的には「町のこと(報告)がなく残念でした」、「大まかなことはわかるが、具体的ではないのでは」といった報告内容自体に対する意見や、「動画・アニメなどにするともっと解りやすいと思う」といったプレゼンテーションのテクニックに対するご意見、「資料等をいただきよくわかり、またこの後確認するのに大変ありがたい」などの感想が寄せられました。なかには「日頃縁遠い分野の学問ですが、研究者がいることを知り、将来を思い安心しました」という感想もあり、私たちの研究分野は地震による被害を受けられた方々にですらあまり知られていないということに、驚かされました。

3. 他に聞きたい話・知りたいことなどありませんか？(第3表)

28名の方々から多様な回答がありました。最も意見が集中した内容は「自分の住んでいる場所(川口町)の地盤の話をもっと聞きたい」というものや「地質・地盤のこと」でした。具体的に「温泉・地下水の

くみ上げによる影響はないですか?」や「液状化現象について起こる地質とそうでないところの話を書いたかった」という要望もありました。

そして、「中越では今後もこのような地震がおこるのかどうか」ということも大勢の方の関心を集めていることであることがわかりました。

一方、なかには災害現象についてではなく、「災害時の心構えや助け合い」「命のリレーというパニックを受けながらも生きていくことのポイントを若い人に伝えて欲しい」という要望も出されていました。

4. 災害の研究に対して、何を一番求めますか？

どのように感じられますか？ 日ごろ思っていること、などなど何でもご自由にお書きください。(第4表)

この問いに対しては、31名の方々から多様な回答がありました。なかでも、「地震予知ができるようにして欲しい」という要望のほか、「調査・研究の結果を情報として少しでも早く知らせたい」となどの情報公開を求める意見がかなり多く寄せられました。情報公開を希望する理由として、「災害真っ最中の被災者は何が起きてどういう対策が為されているのか全く知らされていなかったの、その点で行政への不平不満がつのりました。研究の成果が性急に政治に利用されることなく真に被災地の復興を支えてくださるものであってほしい(川口町/主婦)」や「どこに行けば安全なのか、どこに行けば確実な情報が手に入るのかを教えてくれる所がなく、心もとなかった。」などが挙げられていました。調査・研究成果を市民レベルへ情報公開したり、普及・学習の場を提供したりするといった催しは近年ではだいぶ盛んになってきていると思っていましたが、それは都市部のことで、地方では「めったにない機会」なのでしょう。

また、「最後のまとめにあったように危険は回避できる。しかし宅地造成(盛土)、道路造成(片切片盛)これらを行政・施策の中にしっかり位置づける制度が必要と思う」、「災害時に電気・ガスが止まって本当によかったと思いました。これも阪神の教訓が活かされたのだと感謝しています。今回の災害に対して研究されたこと、全国にPRしてください」といった内容の意見も多数寄せられていました。

災害の“前”・“最中”・“後”といった場面に応じた成果公開の機会を増やしていくことは、被災者の皆さんが望んでいることでもあり、自然現象の知識を増やし、理解を深めることは、市民生活上の減災につながるのだらうと思います。

第1表 本日の報告会の印象はいかがでしたか？

-
- 1 難しいところもありましたが、地震以降の疑問や不安が少し解消されたと思います。
 - 2 大変だったと思います。
 - 3 良かった。家屋の大破と地盤の関係が理解できた。
 - 4 一人当たりの時間が短く理解しにくい。時間をかけて、地盤、地質などの解説がほしかった。
 - 5 説明者の方が早口で聞きづらい。
 - 6 参加して良かった。
 - 7 有意義でした。
 - 8 私にとっては初めての事でしたが、勉強になりました。
 - 9 専門家が専門家に向けての報告会との印象。
 - 10 専門用語でなく平易な言葉でとても良かった。赤いポインターあまり動くと疲れます。練習が必要では？
 - 11 自分の住んでいる場所の地盤がわかって良かった。
 - 12 大変おもしろかった。
 - 13 とても大変なことを長い時間をかけて、よく調べて下さいました。ありがとうございました。一つ一つの手作業からの情報収集等でさぞ、大変だったと思います。前もって資料を読む時間がもらえたかった。
 - 14 詳しい内容で良かったです。
 - 15 良い。
 - 16 良かったと思います。
 - 17 良かった。
 - 18 大変良い企画でした。感謝。
 - 19 大変良かったです。
 - 20 自分の集落の地下地質がわかり良い報告会だと思います。
 - 21 多内容！短時間×、各講師先生話したかったことの1/2！
 - 22 大変良かった。
 - 23 ためになった。
 - 24 調査内容が整理されていて、説明も判りやすかった。内容も良く判りやすく工夫されていた。地元への取り組みとしては頑張ったと思う。
 - 25 体験者にとっても非常に参考になり良かった。
 - 26 初めてこのような勉強の機会ありがとうございました。終始感動した。
 - 27 大変良かった。
 - 28 よかった。
 - 29 わからないから良くなかった。
 - 30 大変良かったです。結果報告会を開催していただきありがとうございました。
 - 31 大変専門的なことを判りやすく聞かせていただきありがとうございました。
 - 32 大変参考になった。
 - 33 専門的な内容でしたが未来に向けての建物をつくる時には参考になります。
 - 34 参考になった。
 - 35 大変判りやすく説明して頂きましたのでよかったです。
 - 36 大変むずかしかった。
 - 37 大変有意義な内容で良かったです。
 - 38 魚沼市に住んでおりますが、魚沼市の堀之内以西の魚沼層群の地盤の所が被害が多かったのだと、漠然と考えていたが、局所的な違いにより大きな差異があるということが判りました。
 - 39 参加者多数の皆さんに感心の深さとお話内容の深さに感銘いたしました。
 - 40 わかりやすく勉強になった。
 - 41 判りやすい説明と図や写真を活用され大変良かった。第一線で研究されているひとの発表などめったに聞く機会がなかったが大変良かった。デマやうわさでなくきちんと聞くことは大切だと思った。
 - 42 わかりやくかったが、難しい言葉も多かった。
 - 43 とても勉強になりました。
 - 44 もっと難しいと思っていた。
 - 45 よかったです。
-

第2表 報告内容は分かりやすかったですか？ 難しかったですか？

-
- 1 分かりやすいと思いました。
 - 2 理解はできた。
 - 3 難しかった。
 - 4 大まかなことはわかるが、具体的ではないのでは。
 - 5 なかなか難しく大変でした。
 - 6 難しかった。
 - 7 内容は分かりやすいが、はきはきと発表したほうが良い。(いい方もいた。)
 - 8 難しいところも多かった。
 - 9 とても難しかった。分かりにくかった。(NHKのニュースキャスターが説明するような内容(資料も)であれば分かったのだが)、パズル・講義は分かりやすかった。
 - 10 大変分かりやすかった。早い順番から分かりやすかったようです。受ける側が疲れてきたせいでしょうか。若い方の話は良く判りました。失礼しました。ごめんなさい。
 - 11 分かりやすかった。
 - 12 一つの報告時間が短すぎて頭がついていかなかった。(自分が基本的なことを知らなすぎた。)
 - 13 昔話などは年寄りからよく聞いておくことが大切だということがわかりました。
 - 14 分かりやすい。特に扇状地の研究。
 - 15 ちょっと難しかったです。
 - 16 少し難しい。
 - 17 解りやすい説明であった。
 - 18 分かりやすかった。
 - 19 図版・資料。映像!!!
 - 20 分かりやすい
 - 21 難しい点もありました。
 - 22 分かりやすかった。
 - 23 日頃縁遠い分野の学問ですが研究者がいることを知り、将来を思い安心しました。
 - 24 おおむね理解できた。震動の早さ＝地盤地質＝家屋の被害の大きさは良い教訓でした。
 - 25 高度であったが理解できた。
 - 26 分かりやすいこともあったし、難しかったこともあった。
 - 27 町のことがなく残念でした。
 - 28 分かりやすく知りたい事を知ることができました。
 - 29 資料等いただきよくわかりまた此の後確認するのに大変ありがたい。
 - 30 部分的に専門的な時があつて難しかった。
 - 31 難しかったが若い人にはよかつたと思います。
 - 32 難しかった。
 - 33 大変解りやすく説明して頂きましたので良かったです。
 - 34 良かった。
 - 35 後ろの方の席でしたので少々見えにくかつたのですが内容は分かりました。
 - 36 分かりやすかつたです。
 - 37 少し難しいとも感じましたが貴重なご報告誠にありがとうございました。
 - 38 解りやすかつた。
 - 39 動画・アニメなどにするともっと解りやすいと思う(制作に時間・コストがかかると思いますが)。
 - 40 難しかったけど少しは頭に入りました。
 - 41 分かりやすくてここで起きたことが理論つけられていた。
 - 42 専門的な話が分かりやすかつた。
-

第3表 他に聞きたい話・知りたいことなどありませんか？

-
- 1 横揺れの話があったが縦揺れの話がなかったか、私は感じなかったが縦揺れと言う人もいた、大きな音がしたのはどうゆうことか？ 自動車がぶつかったような音。
 - 2 地震の種類(直下型等)、被害の想定内or外、おきるべきして起きた今後は？
 - 3 川口町の全部(各地区のもの)を知りたかった。
 - 4 自分の住んでいる場所の地盤の状態、町に走っている断層。
 - 5 「地盤」と「地質」といった概念が不明確な私には時々とまどうことがあり今後勉強します。
 - 6 温泉・地下水の汲み上げによる影響はないですか？
 - 7 地盤災害の仕組み、阪神との違い。
 - 8 ありません。
 - 9 資料を熟読してお聞きします。
 - 10 予知することができれば非常によいかと思われま。
 - 11 地震発生のメカ具体的に。
 - 12 中越で今後も地震が起きるか？地盤上昇の影響は？(70cm+)
 - 13 地球上に住む人間として大事な学問と思う。
 - 14 調査結果、研究結果を予防に転じて、このような機会の設定を希望します。
 - 15 液状化現象について起こる地質とそうでないところの話を知りたかった。
 - 16 知りたいこともありました。
 - 17 あります。
 - 18 自分の家の地盤が今どきかどうであるか一番心配です。
 - 19 今後の予想などを知りたい。
 - 20 災害のあったときの助け合い、命のリレーというパニックを受けながらも生きていくことのポイントを若い人に伝えてほしい。
 - 21 地質のこと、地盤。
 - 22 わからない。
 - 23 災害時の心構え、小学児童や高齢者にお聞かせ下されれば幸いです。
 - 24 自分の住む地域の実態を詳しく知り大変参考になりました。
 - 25 自分たちの住む集落(川口)の話が聞きたい。
 - 26 宅地を埋め立てる場合、どのような方法(土、砂利等)がよいのか？
 - 27 今後このようなことがあるのかないのか？
 - 28 現在やっと生活が(精神面でも)元に戻った状態、今なにかしりたいのか分からない、もっと落ち着いたら詳しく知りたいかも、定期的に今回のような会を開いて頂きたい。
-

第4表 災害の研究に対して、何をいちばんもめますか？ どのように感じられますか？ 日頃おもっていること、などなど何でもご自由にお書き下さい。

-
- 1 大雪や台風等の気候関係はずいぶん予報が当たるようになりましたが、地震に関してはまだ予知ができないので早く予知が出来るようになってほしいと思います。
 - 2 災害の発生後、過去の実績のほか、危険箇所と防災対策の方向を示してほしい。
 - 3 地震予知が出来ると良いのですが、起きてから専門家の会見がよくありますが・・・、避難したり、注意報がだせるように、地震予知。
 - 5 今日のお話を家に帰って子供たちに教え今後の生活していくうえで考えていくように思います。
 - 6 調査をされる方はとても大変なことでご苦労様です。今日のようにそれらの情報が少しでも早く知られることを希望したいと思います。災害研究はもちろんですが、災害真っ最中の被災者は何が起きてどういう対策が為されているのかまったく知らされなかったのも、その点で行政への不平不満がつのりました。研究の成果が性急に政治に利用されることなく真に被災地の復興を支えて下さるものであってほしいものです。
 - 7 自宅がどういう場所にあるのか前もって知りたい。
 - 8 地震の予知。
 - 9 なぜ地震が起こったのか原因を一番知りたかった、ニュース等で知る災害等は本音を言う「人事」でした、しかし自分が思い付かない災害に見舞われ一番不安だったのはどこに行けば安全なのか、どこに行けば確実な情報が手にはいるのかを教えてくれる所がなく心もとなかった。次はどのくらいの周期でやってくるのか知りたいが、あまりに長い周期で無理でしょう。

- 10 中山間地の災害。
- 11 命を守るための工夫。数秒間の本震でつぶれない家を作る。余震までに脱出する。
- 12 次代に不安を残すことのない研究を求めますし、知らせて下さい(大勢の人に)。
- 13 自衛隊の飛行機、ミサイル、戦車一台分で研究が大躍進できるのに・・・政治家×××→選んだ国民×?
- 14 安全な地盤と危険な地盤の分布について、繰り返しまとめと整理は大変分かりやすく、報告者の熱意がよく伝わった。
- 15 狭い地球ですので人間が住める様、地盤・住居をどうするか?
- 16 一番最後のまとめにあったように危険は回避できる。しかし宅地造成(盛土)道路造成(片切片盛)これらを行政・施策の中にしっかり位置づけする制度が必要と思うがこのへんどのようになっていますか?
- 17 災害が起きる前に何をすべきか? ありがとうございます。
- 18 これからこのような災害があるか心配です。
- 19 秋までに仮設住宅を出られないか閉口している。
- 20 地震が予知できたらどんなによいか。研究の進むことを願っています。
- 21 たとえば小千谷の妙見の大災害は常時電車で揺られ通して何十年の中また信濃川の常時震害またその崖淵の国道等で僅かの災害でも破壊の可能性があると思われるがこの点国道また国鉄等の災害予見にまた予防上の関心があったのかどうか、これからのこともあり心から予防に心がけたい、かけて頂きたいものと思っております。
- 22 事前に分かるものは広報してほしい。
- 23 地震の時に避難してしばらく暮らせる施設を建ててほしいと思う。食べ物は十分に運ばれてきましたが、トイレが一番困りました。特に老人には仮設トイレは怖かったようです。これを機会に専門家が一生懸命研究してくれてありがたかったです。
- 24 わからない。
- 25 災害時に電気・ガスがとまって本当によかったと思いました。これも阪神の教訓が生かされたのだと感謝しています。今回の災害に対して研究されたこと、全国にPRして下さい。
- 26 研究だけで終わらせずに別の地点になるでしょうけれど、このすばらしい結果を生かせるようにしていければよいと思います。今日は有益な情報をお聞かせいただきありがとうございます。
- 27 今まで余り考えも有りませんでしたがお話をお聞きし、皆様の御研究の大切さを感じ今後の御努力を御期待申し上げます。
- 28 災害の研究と防災について常に連携をとって災害前に対策をたてられればいつも思う。災害が発生してからの対処が多いと思う。
- 29 地質調査が安価でできるように研究願いたい。図で横揺れは理解できたが、縦揺れが分からなかった。後でメール等で質問させて頂きたいと思います。よろしく願います。
- 30 研究調査の中の姿をよく見かけた。学生さんもよく来町していたように思うがこのところ不審者対策もあるので身分がはっきり分かるようにしていただけるとありがたい。
- 31 情報の伝達。道路、ライフラインすべてたたれ、孤立状態で、現実何がおこっているのか2、3日掌握できなかった。地質、地盤の調査の公開。

おわりに

会場で受付をしながら、高齢の参加者がわりと多いと感じていました。しかも、おばあちゃんが多かったという印象が残っていました。そして、アンケート結果を読んで見て、今回の報告会のような形式の講演を聞く機会が、これまで催されてこなかったようで、参加者の皆さんにとって「近くで」聞ける、「参加しやすい」会だったのだらうと思いました。

前節ですでに例示したように、今回のアンケートによって災害地学研究への要望としては、災害前に対策をたてられるようにしてもらいたいという予知に関わる内容への期待と、研究成果をわかりやすく教えてもらいたい：学んだことを後世に伝えていきたい、と望まれていることが明らかになりました。報告会でのプレゼンテーションのテクニックに関する手厳しいご指摘もありましたが、これにめげずに、研究者が直

接語り、意見交換できる機会が数年後にまた催せるとよいのではないかと思います。

最後に、調査中の態度について、「研究調査の中の姿をよく見かけた。学生さんもよく来町していたように思うが、このところ不審者対策もあるので身分がはっきりわかるようにしていただけるとありがたい」というご意見も寄せられました。被災地の皆さんに不安・不信感を持たせるような調査態度は望ましくありません。この方のご意見は、緊急調査の場合であるからこそ、一目で所属や調査目的がわかっもらえるような装備の工夫や調査態度への戒めとして、特筆しておきたいと思います。

HONGO Misao (2006) : Research Center for Natural Hazards and Disaster Recovery, Niigata University.

<受付:2006年5月1日>